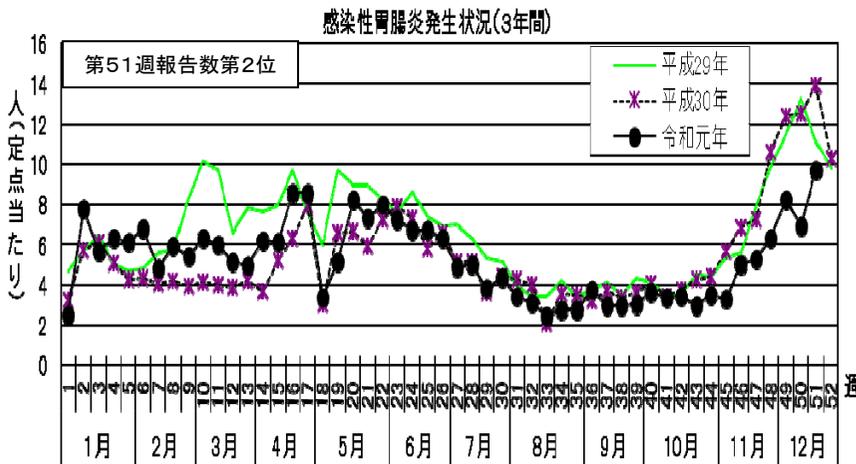
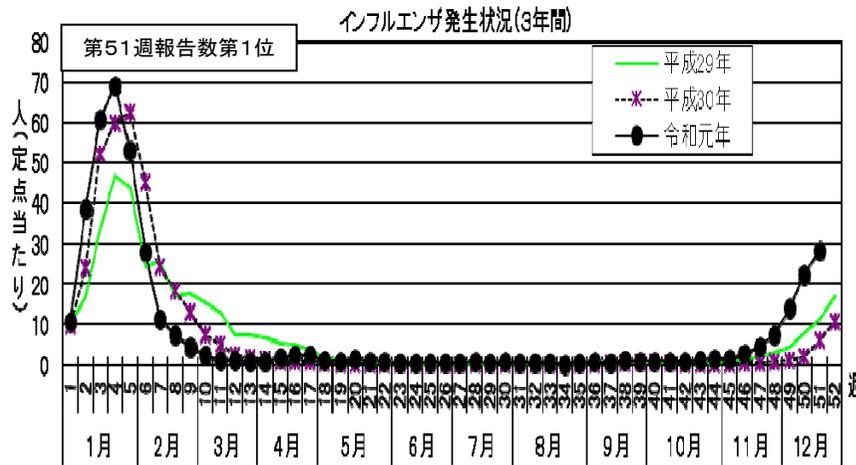


# 今、何の病気が流行しているか！

## 【感染症発生動向調査事業から】

令和元年12月16日（月）～令和元年12月22日（日）〔令和元年第51週〕の感染症発生状況

第51週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)インフルエンザ 2)感染性胃腸炎 3)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。インフルエンザの定点当たり患者報告数は28.36人と前週（22.31人）から横ばいで、例年より高いレベルで推移しています。感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は9.68人と前週（6.92人）から増加しましたが、例年より低いレベルで推移しています。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は5.11人と前週（5.22人）から横ばいで、例年より高いレベルで推移しています。

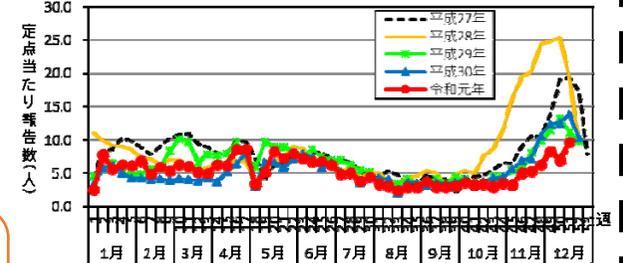


## 感染性胃腸炎の報告数が徐々に増加しています！

感染性胃腸炎の原因はウイルスや細菌など様々ですが、特に冬季はノロウイルスを原因とする患者数が増加し、例年秋から冬にかけて患者報告数がピークを迎えます。川崎市では、今年は例年に比べて低いレベルで推移していますが、令和元年第51週（12月16日～12月22日）の感染性胃腸炎の定点当たり報告数が9.68人となり、前週（6.92人）から増加しています。

市内の保育園で集団発生もみられ、学校・保育園等欠席者サーベイランス情報によると、嘔気・嘔吐で欠席する保育園児が多く報告されています。手洗いの徹底を心がけましょう。

川崎市における感染性胃腸炎発生状況（過去5年間）



### 正しい手の洗い方



石けんで洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

厚生労働省作成ポスター「手洗いポスター」より抜粋

### 学校・保育園等欠席者サーベイランス情報【嘔気・嘔吐のある保育園児報告数※】

